

第1回 明治大学小史展

学園をみまもってきた記念館

1999・2・25(木)～5・31(月)

大学会館1階ロビー

明治大学および明治大学史にあって、シンボルといえば記念館はそのひとつにあげられましょう。今回の展示ではシンボルのみならず心の拠り所でもあった、その記念館の歩みを振り返ってみましょう。

なお、お問い合わせは歴史編纂事務室（当館6F）まで、お願いします。



戦後まもない3代記念館（昭和28年9月18日）

展示品

1. 初代記念館の写真（明治44年）

創立30周年を記念して南甲賀町（現在の主婦の友社）から今の駿河台の地に移転した時にキャンパスの中央部（現リバティタワー）に建設された。



2. 2代記念館の版画（大正元年）

初代記念館は完成5ヶ月にして焼失してしまう。そして、9ヶ月後に再建されたのが、この記念館である。



3. 3代記念館の模型（1995年12月）

2代記念館は大正時代を生き抜いていくが、大正12年の関東大震災によって崩壊した。しかし、教職員・学生・校友らの必死の労苦により、昭和3年、ついに記念館は蘇った。

4. リバティタワーの模型（1996年3月）

3代目の記念館の跡にリバティタワーが竣工したのは、昨年9月のことである。今や確実に明治大学、そしてお茶の水のシンボルとなっている。

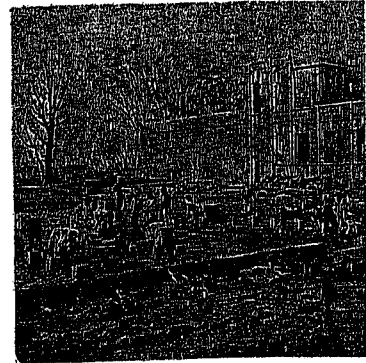
5. 記念館講堂建築資金募集の記事（明治43年7月）

明治大学の校誌『学叢』第7号に収載されている初代記念館の建設資金募集に関する記事である。学生が呼びかけを行っている。

6. 復旧作業の写真と『焼跡整理簿』

(大正12年9月、同年12月)

関東大震災により壊滅状態となった学園にはいち早く学生らがかけつけ、復旧に向けて汗を流した。



7. 復興校債募集の趣意書・申込書 (大正13年3月)

関東大震災からの復興のため、全国の関係者に校債の応募を呼びかけた。

8. ドームの銅板 (昭和3年)

3代記念館の頂上部はこの銅板におおわれたドームでした。このドームの形もまたリパティタワーに引継がれました。



9. 貴賓室の壁布 (昭和25年)

創立70周年記念行事の際、3代記念館の貴賓室の内部の壁に貼られた布である。

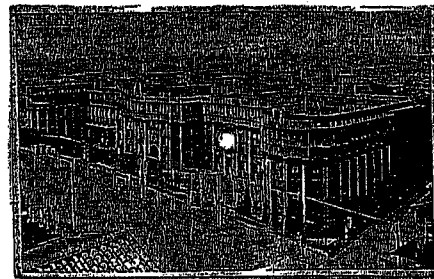
10. 3代記念館の絵 (昭和初年)

竣工まもない記念館を描いた作品である。自動車などが当時の風情を添えている。

11. 記念館のグッズ (昭和年間)

- (1) 創立50周年記念のペン皿 (川島達男氏寄贈)
- (2) 3代記念館オルゴール (坂場薫氏寄贈)
- (3) 3代記念館置時計 (布留川邦夫氏寄贈)
- (4) 3代記念館ソノシート (岩田武氏寄贈)

さすがに記念館のグッズは数多く作られた。
これはほんの一部である。

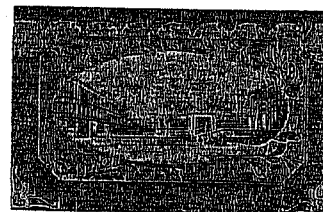


(4)

12. 記念の絵葉書 (明治44年、昭和3年4月、同15年)

- (1) 明治大学創立三十年 記念絵葉書
- (2) 明治大学校舎絵葉書
- (3) 明治大学復興記念絵端書
- (4) 創立六十年記念絵葉書

記念館の絵葉書も今となってはかなり貴重なものである。



(1)

13. 『明治大学記念館の歴史と資料』と『明治大学記念館 1928⇒1995』

(1996年3月、同年9月)

ともに3代記念館の終焉を機に刊行されたものである。

1999・2・25

明治大学歴史編纂事務室

03(3296)4085・4086